



# 全教北九州

新聞 全教北九州  
全教北九州市教職員組合  
発行責任者 中川喜久子  
2023年2月27日

全教北九州 検索 教職員の勤務実態 特集 この新聞はすべての教職員に配布しています

## 21年度の教員「心の病」の病気休職・休暇取得者、過去最多に

### 高止まりする病気休職・病気休暇の背景は何か

2021年度に公立の小中高校と特別支援学校で精神疾患を理由に休職した教員は20年度より694人多い5897人で、過去最多になったことが文部科学省の調査でわかりました。また、精神疾患で一か月以上の病気休暇を取得した人を合わせると計1万944人となり、初めて1万人を超えました。精神疾患の休職者は、「働き方改革」が推進されているにも関わらず、この15年ほどは5千人前後で高止まりしています。

#### 市教委は現実に向き合い改善を

教育委員会に病気休職取得者数を照会したところ「令和2年度は29人で10年前と比較して半減している」との回答でした。一方、文科省の人事行政状況調査で北九州市の状況を調べたところ、直近3年間の病気休職・休暇取得者は、令和元年度66人（内病休者24人）、2年度56人（病休者29人）、3年度68人（病休者41人）と高止まりの傾向が続いていました。

市教委には、北九州市全教職員1%以上の教員が「心の病」で休職・休暇に追い込まれている現実と真摯に向かい合い、教職員の長時間労働、過密・過重労働の背景・原因を検証し、改善する責務があります。

#### 全教の調査にみる問題の背景

1月19日、全日本教職員組合（全教）が10年に一度実施している「教職員勤務実態調査2022」の第1次集計の結果を発表しました。（詳細2面）全教では、これまでの調査結果と比較することで、教職員の深刻化している勤務実態

を可視化し、長時間過密労働をなくす取り組みに生かしています。

この調査では、教職員の時間外勤務の月平均時間は、10年前と比較して、校内での時間外勤務の時間が増え、持ち帰り仕事の時間が減っていました。時間外勤務の総計は平均92時間32分で過労死ラインである月平均80時間を越えていました。

また、法律で使用者が労働者に保障しなければならない休憩時間も、平日の休憩時間の平均は11分4分（前回調査は19分）で、57%が全く休憩時間を取れていないと回答しており、過密で多忙な教育現場の実態が明らかになっています。

持ち帰り仕事も、一層厳しくなった個人情報漏洩防止策などで減少しているものの、今でも多くの教職員が行っている実態が明らかになりました。このような働き方が健康を蝕み精神的疾患の一因となっていると考えられます。

このような結果について全教は、10年前に実施した調査と大きな変化はなく、「月平均で80時間の『過

労死ライン』を超えておりきわめて遺憾」としています。

#### 全教北九州の取り組み

2000年代年初頭には1500人程度だった病気休職者が、この20年間で3.5倍と異常な増え方です。全教北九州市教職員組合は10年前、急増する病気休職者・休職者に危機感をもち、リーフレットを作成し配布しました。教育委員会との交渉では、長時間労働の背景や原因を現場の教職員の声や実態を交えながら明らかにし、改善を強く求めました。しかし、教職員の長時間労働、教員特有の過重・過密労働は一向に改善されていません。

組合の会議では時短に関する多くの不満が聞かれます。また、これから具体化が予想される教員免許更新新制廃止後の新たな研修制度による管理・統制の強化、勤務評定の賃金リンクによる職員間格差や分断など息苦しい職場環境は今後も増え続けるでしょう。

このような教育現場では、自身の健康を自衛することも重要です。きつい時には我慢や無理をせず休養する、周囲の同僚に相談する、周囲にそのような人がいなければ全教北九州に相談してください。

組合には悩みを共有する仲間があります。全教北九州の組合員となり、教職員が「健康で安心して働き続けることができる環境のもとで、より良い教育を行える」教育現場を一緒に実現していきましょう。

### 北九州の戦争遺跡

#### 富野弾薬本庫 (小倉北区)

満州事変以後、中国・ソ連との戦争を想定した陸軍は、1933年「要塞再整理修正計画」を策定します。下関要塞は関門海峡防備に加えて、鎮海湾（韓国）、対馬・志岐（長崎県）の各要塞と連携した朝鮮海峡の防備任務も付与されました。計画に基づき、観音崎・角島・蓋井島（下関市）、白島（若松区）、大島・沖ノ島（宗像市）に砲台が35年から40年にかけて設置されました。

砲台設置と並行して足立山の北側山麓の私有地を買収して坑道式弾薬庫を建設、41年に竣工し「富野弾薬本庫」と称しました。用地買収は強引で、地権者は同意するまで憲兵隊に呼び出されました。

戦後、55年まで米軍が使用、返還後は「陸上自衛隊富野分屯地」となり西日本最大規模の弾薬庫として現在に至ります。日出生台演習場（大分県）での実弾射撃訓練の際には、弾薬を搭載した車両の通行が市民の監視活動により確認されています。

全教「教職員勤務実態調査2022」第一次集計(勤務時間)

調査の概要

①時期

2022年10月24～30日

②実施方法

全教、教組共闘連絡会の各組織を通し、すべての職種の教職員に対し、全国の学校種別・年代別の教職員の割合に比例した数で調査協力を依頼。

③調査票の内容

毎日の出勤時刻や持ち帰り業務の時間、実際に取得した休

憩時間、睡眠時間等を書き込み、30分ごとに勤務等の内容をチェック。

④回収率

36都道府県の教職員より回答を得た。依頼総数3999通中有効回答数2524通(回収率74.3%)

勤務時間

▼全職種の時間外勤務は10年前のデータと比べ、校内での時間外勤務の時間が増え、持ち

帰りの時間が減っている。特に平日の時間外勤務や土曜日の勤務が増えている。(表1・表2)

▼文科省調査ではテレワーク以外の持ち帰り仕事はカウント

されないが、教職員の実態は表1の通りであり、時間外勤務の総計の平均は過労死ライン(80時間)を超えている。(表1)

▼時間外勤務の上限(月45時間)

についてみると、59.2%が「超えている」と答えているが、調査機関の実態で計算すると、82.3%が上限を超え

36.1%は100時間を超えている。(表3・表4) 職種別に検討すると、教諭の構内での時間外勤務は4週間で74時間32分。(前回は72時間56分) (表5)

表1 時間外勤務と持ち帰り勤務時間の平均(全職種)

Table with 4 columns: Day, 校内(A), 持ち帰り(B), 合計(A+B). Rows include 平日, 土曜日, 日曜日, 4週間合計, 1カ月合計.

「校内での時間外勤務(勤務日) = 「在校時間」 - 「所定の勤務時間(7時間45分)」 「在校等時間」 = 「出勤時刻から退勤時刻までの時間数」 - 「取得した休憩時間」 「1カ月の合計」 = 4週間の合計 × 30/28

表2 前回調査の時間外勤務と持ち帰り勤務時間の平均(全職種)

Table with 4 columns: Day, 校内(A), 持ち帰り(B), 合計(A+B). Rows include 平日, 土日, 4週間合計.

表3 月45時間の時間外勤務の「上限」を超過した月の割合

Table with 2 columns: 割合(%), 割合(%). Rows include 超えた月はない, 超えた月がある, 毎月超えている, よくわからない, 無回答, 合計.

表4 調査結果による校内での時間外勤務の分布

Table with 2 columns: 割合(%), 割合(%). Rows include 45時間未満, 45~80時間未満, 80~100時間未満, 100時間以上, 合計.

表5 校内の時間外勤務の職種別による比較

Table with 10 columns: 教諭, 養護, 栄養, 実習, 寄宿舍, 事務, 司書, 現業. Rows include 平日, 土曜日, 日曜日, 4週間合計, 1カ月合計.



東京会場での講座の様子

まなびの種・つながりの芽・希望の花

全国青年教職員学習交流集会「TANE！」

2月4日(土) 5日(日) 全国青年教職員学習交流集会「TANE！」が東京都内でオンラインを併用し開催されました。TANEは、「自分たちの世代が学びたいことは何? 知りたいことは何?」と考えるながら、楽しく学びあう参加型の学習会です。学習会は、平井美津子(元大阪府公立中学校教諭、大阪大学・立命館大学非常勤講師)さんの記念講演「生きづらさに向き合う子ども―絆よりゆるやかにつながろう―」のほか、4実践分科会、4講座と盛りだくさんの内容でした。講座「子どもたちの心に平和の砦を築く会」に参加した北九州の青年は「平和の問題をじっくり考えることができたし、新しい体験で気持ちもリフレッシュできた」と感想を語ってくれました。